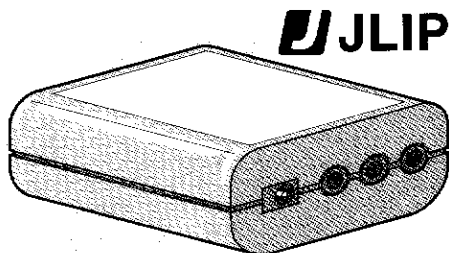


JLIPプレイヤーパック
型名 HS-V1KIT


お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

●フロッピーディスクケースのシールを開封する前に、必ず添付の「ソフトウェア使用許諾書」をお読みください。シールを開封した時点で、お客様の同意が得られたものと致します。

	はじめに	2
	安全上のご注意	3
	主な特長	8
	各部のなまえ	9
ビデオムービー再生ソフト使用説明	10	
	AV機器との接続	12
ビデオムービー再生ソフトの起動	16	
ビデオムービー再生画面の動き	18	
	基本操作	20
ビデオプリンター画面の動き	26	
ビデオプリンターの操作	28	
	応用操作	30
	こんなときは	33
	主な仕様	34
保証とアフターサービス	35	



はじめに

ジョイント

JLIP規格とは

パソコンを使ってJLIP端子付きのAV機器をコントロールできる規格です。ビデオ編集や、ビデオプリンターを使って好みのシーンのプリントアウトなど、マルチメディア時代の新しいホームAV用途の広がりに対応できます。

ジョイント レベル インターフェース プロトコル

JLIP：Joint Level Interface Protocol（外部通信制御プロトコル）の略です。

動作環境

- *Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1日本語版が動作しているパソコン
 - RAM容量8MB以上
 - ハードディスク空き容量1MB以上
 - 640×480ドット、256色以上の表示が可能なカラーディスプレイ
 - シリアル通信ポートD-SUB9ピン オスコネクターでRS232C対応のもの
通信速度：9600bps対応のもの
 - マウス（本体に接続可能でWindows®に対応したマウス）
 - 3.5インチ 1.2MBのフロッピーディスクが読めるフロッピーディスクドライブ
- *Microsoft®, Windows®は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

接続可能な機器

- ビデオムービーGR-DV1
（GR-DV1にJLIP端子付きのドッキングステーションを取り付けます。）
- JLIP端子付きビデオプリンターGV-PT1

（1996年2月現在）

安全上のご注意




安全のために必ずお守りください

■本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください。

本機をご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。


表示の意味は次の通りです。

	製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性があるもの。




絵表示は、注意（警告を含む）が必要であることをお知らせしています。



絵表示は、禁止行為であることをお知らせしています。
例)  は「分解禁止」



絵表示は、お守りいただく行為であることをお知らせしています。
例)  は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」

※JLIPプレイヤーバックのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 警告

■万一異常が発生したら、差し込みプラグをすぐ抜く!!

煙が出たり変な音やにおいがするなど異常状態のまま使わないでください。火災、感電の原因となります。

このようなときは、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険です。絶対におやめください。



■落としたり、壊れたときなどは、差し込みプラグを抜く

販売店に修理を依頼してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

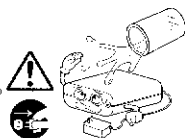


■内部に水や異物が入ったときは、差し込みプラグを抜く

販売店に連絡してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

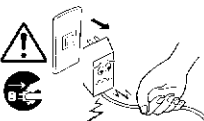
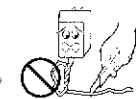


■電源コードを大切に

電源コードの上に、重い物をのせたり、熱器具に近づけないでください。電源コードが破損します。

電源コードに傷がつくと火災、感電、故障の原因となります。

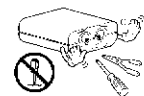
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災、感電の原因となります。電源コードが傷んだらすぐに販売店にご連絡ください。差し込みプラグを抜くときは電源コードを引っぱらずに必ず差し込みプラグを持って抜いてください。



■本機のカバーをはずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分がありますので、手を触れると感電の原因となります。内部の点検・調整は販売店にご依頼ください。

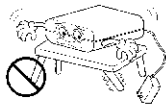
また、本機を改造しないでください。火災、感電の原因となります。



警告

■不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



■内部に物を入れない

端子部などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
火災や感電の原因となります。
特にお子様にご注意ください。



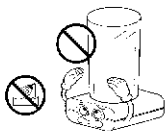
■電源はAC100Vを使う

AC100V電源をお使いください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。また、差し込みプラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。付属のACアダプター以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。



■ぬらさない

火災や感電の原因となります。
風呂場では使用しないでください。
水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の上に置かないでください。



安全上のご注意(つづき)

⚠️注意

■本機を次のような場所には置かない

火災、感電の原因となることがありますので、本機を次のような場所に置かないでください。

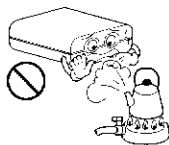
・湿気やほこりの多いところ

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

油煙や湯気が当たるような場所はさけてください。

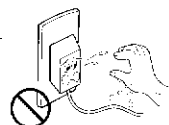
・高温になるところ

直射日光が当たる場所や熱器具の近くなど異常に温度が高くなる場所に置かないでください。



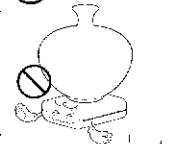
■ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。



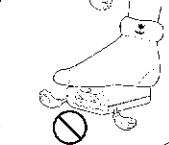
■上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■上にのらない

倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にご注意ください。



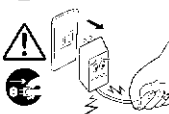
■お手入れするときは、差し込みプラグを抜く

お手入れするときは、安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



■ご使用にならないときは

安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



■指定以外のアクセサリは使用しない

本機に使用するアクセサリは、必ず「取扱説明書」で指定しているものをご使用ください。それ以外のアクセサリを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に点検をすると、より効果的です。費用については、販売店にご相談ください。



■海外では使用できません

このJLIPプレイヤーパックを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

<CAUTION: This JLIP PLAYER PACK set can not be used in foreign country as designed for Japan only.>

■フロッピーディスクの取り扱いについて

折ったり、曲げたりしないでください。

ほこり、直射日光、高温は避けてください。

磁界は避けてください。

フロッピーディスクの磁気面にさわらないでください。

本機は、第二種情報処理装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報処理装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

しかし、本機をテレビやラジオなどに近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な特長



パソコンでJLIP端子付きのビデオムービーGR-DV1*やビデオプリンターGV-PT1が集中コントロールできます。



プログラム再生（99プログラムまで可能）やビデオへのプログラム編集ができます。

●JLIP端子付きのビデオムービーGR-DV1*が必要です。

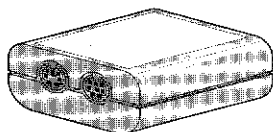


ビデオプリンターGV-PT1の画質設定ができます。

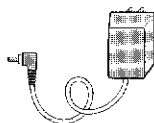
*GR-DV1にJLIP端子付きのドッキングステーションを取り付けます。

パッケージ内容

PCジャンクションボックス



ACアダプター

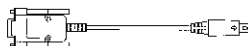


JLIP PLAYER ソフト

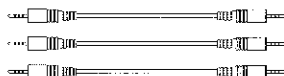
(3.5インチ2HD 1.2MB
フロッピーディスク)



PC接続用ケーブル（DOS/V用）



φ 3.5 4極ケーブル (3本)



PC98をお持ちのかたは

市販の変換ケーブルが必要です。

- RS232C変換アダプター
D-sub9ピンオス：D-sub25ピンオス

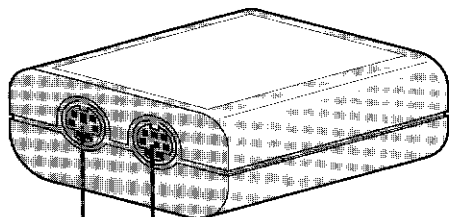
PC98ノートをお持ちのかたは

市販の変換ケーブルが2つ必要です。

- RS232C変換アダプター
D-sub9ピンオス：D-sub25ピンオス
- RS232C変換ケーブル（ストレート）
D-sub25ピンメス：D-sub14ピンオス
（ハーフピッチ）

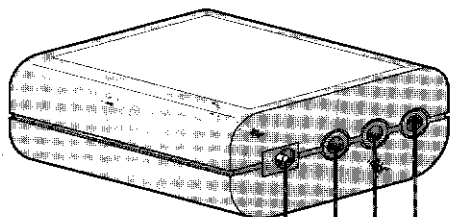
各部のなまえ

PCジャンクションボックス



ジャンクション
ボックス端子 (6ピン)
将来の拡張用端子です。

パソコン端子 (8ピン)
パソコンのRS232C端子 (COM
端子) へ接続します。



DC入力端子
付属のACアダプターを
接続します。

JLIP端子
JLIP端子付きのビデオムービー
やビデオプリンターなどへ接続
します。

ビデオムービー再生ソフト使用説明

WINDOWS®対応パソコンへのインストール

Windows®の基本操作については、Windows®またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

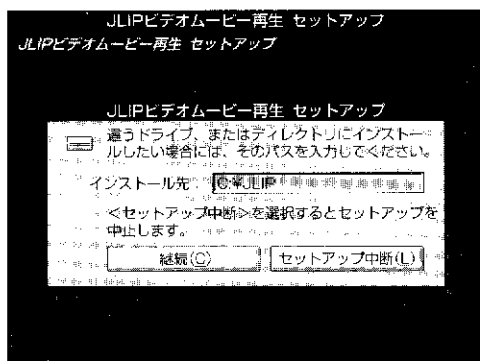
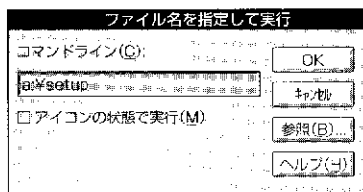
インストール手順

*セットアップをするには....

1. Windows®を起動します。
 - もし、他のソフトを使用されている場合は終了させてください。
2. 「JLIP PLAYERソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。
3. Windows®のプログラムマネージャーで [アイコン] - [ファイル名を指定して実行] コマンドを選択します。
4. 「JLIP PLAYERソフト」をドライブAに挿入したときは、[コマンドライン] テキストボックスにA:¥setupと入力し、ドライブBに挿入したときは、B:¥setupと入力します。

例：DOS/V対応パソコンはCドライブ以外に挿入します。
PC98対応パソコンはAドライブ以外に挿入します。

 - <OK>ボタンをクリックします。
 - セットアッププログラムが起動したら、画面に表示される指示に従ってください。
 - セットアップが終了すると、「ムービープレイヤー」アイコンが画面に表示されます。
 - [JLIPビデオムービー再生インストールが終了しました]とメッセージが表示されます。
5. <OK>ボタンをクリックしてください。
これでインストールは完了です。

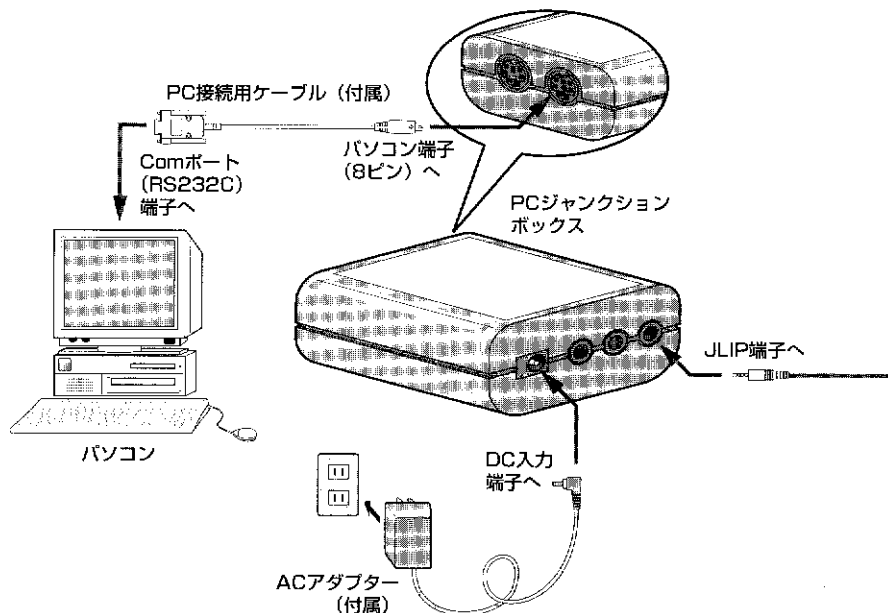




AV機器との接続

JLIP端子付きビデオムービーと接続した場合

- 各機器の電源を切ってから接続してください。



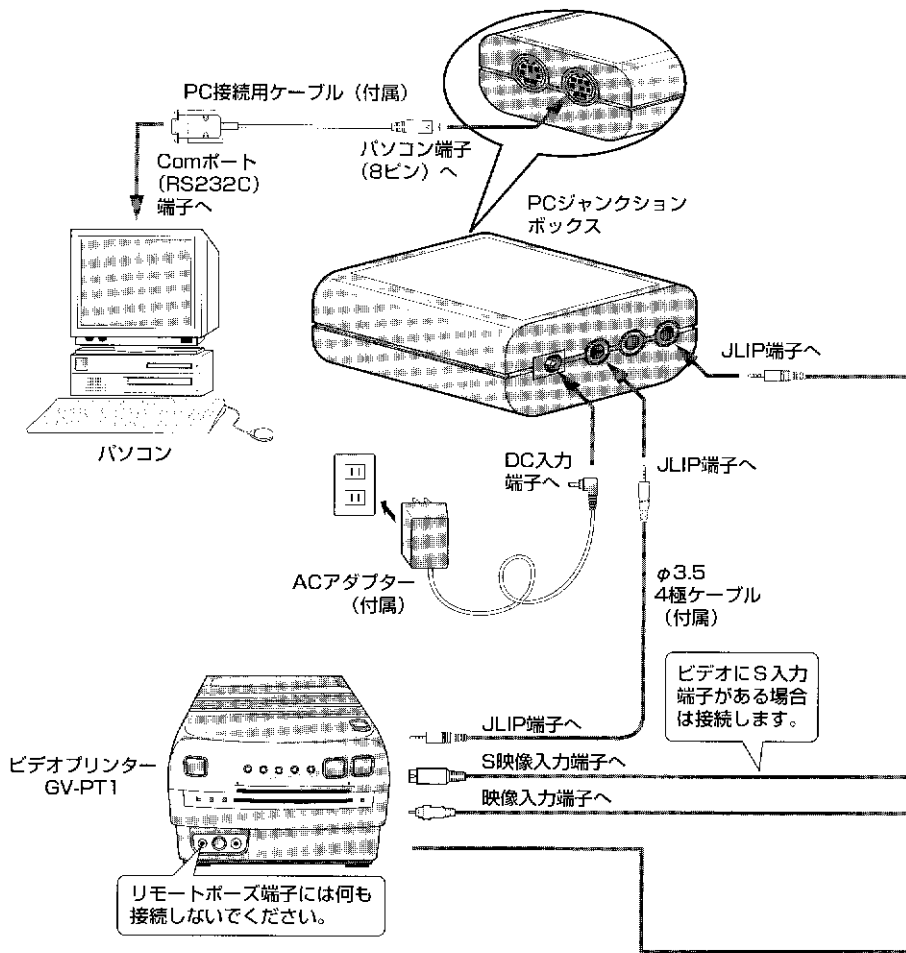
- パソコンにD-sub9ピンがない場合は、市販の変換アダプターや変換ケーブル (8ピン参照) を使って、パソコンとPCジャンクションボックスを接続してください。

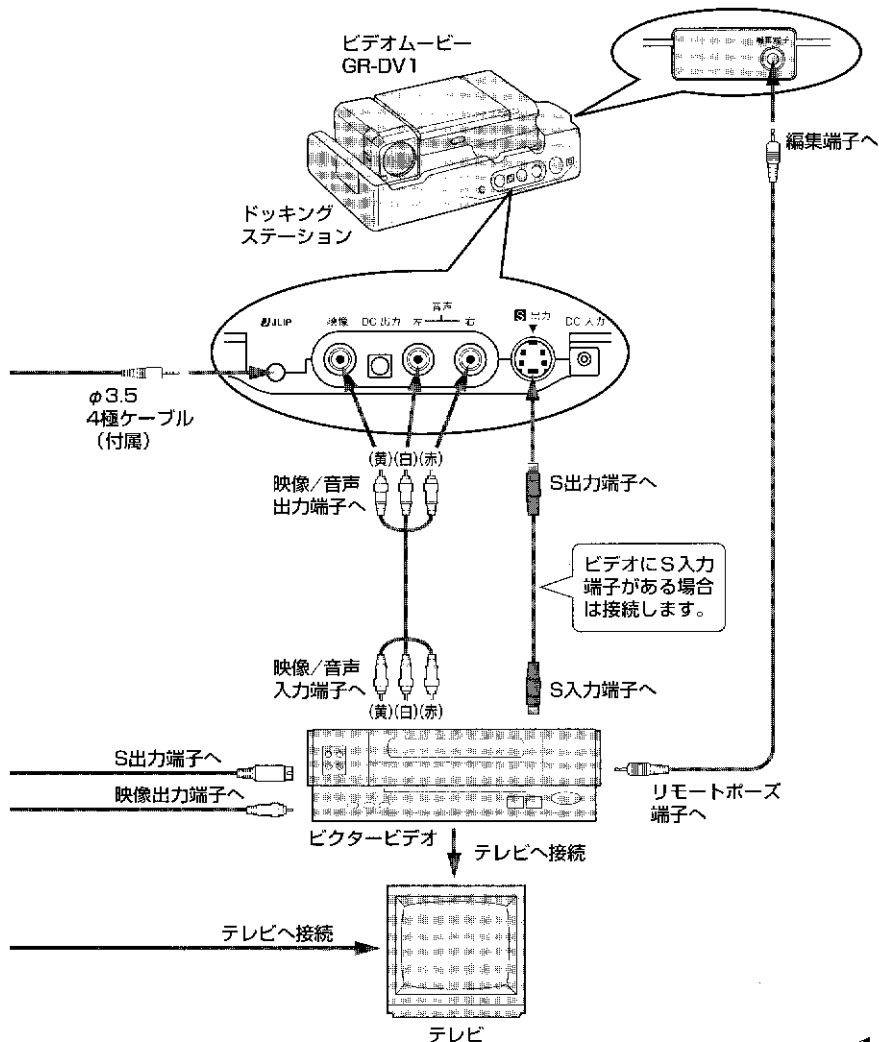


AV機器との接続(つづき)

JLIP端子付きビデオムービーおよびビデオプリンターと接続した場合

- 各機器の電源を切ってから接続してください。



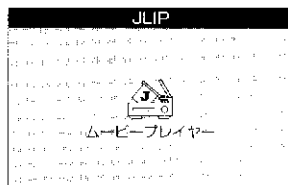




ビデオムービー再生ソフトの起動

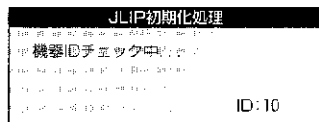
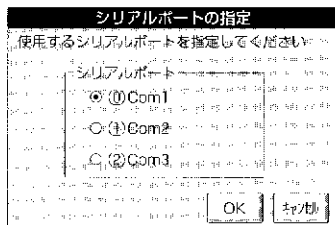
1. JLIPの起動

- 接続機器の電源を入れてください。
ビデオムービーの電源スイッチは「再生」の位置にしてください。
- Windows®のプログラムマネージャー画面上の【ムービープレイヤー】のアイコンをダブルクリックしてください。
- シリアルポートの指定画面が表示されます。

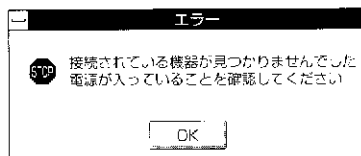


2. シリアルポートの指定

- PCジャンクションボックスからパソコンに接続されているコネクター（ポート）番号（A、B表示の場合、Aは1に相当）を選択します。
番号が合っていないと接続エラーとなります。
- <OK>をクリックすると、【JLIP初期化処理】画面が表示され、接続されている機器を調べます。



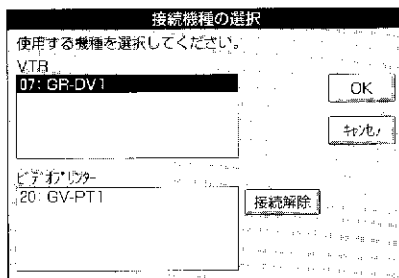
正しく接続されていないときや、接続機器の電源が入っていないとき、または、接続機器のID番号が重なっているときは、接続エラーメッセージが表示されます。<OK>をクリックすると、最初のプログラムマネージャー画面に戻ります。接続および機器の電源を確認し、再度やり直してください。また、シリアルポートの指定も確認してください。



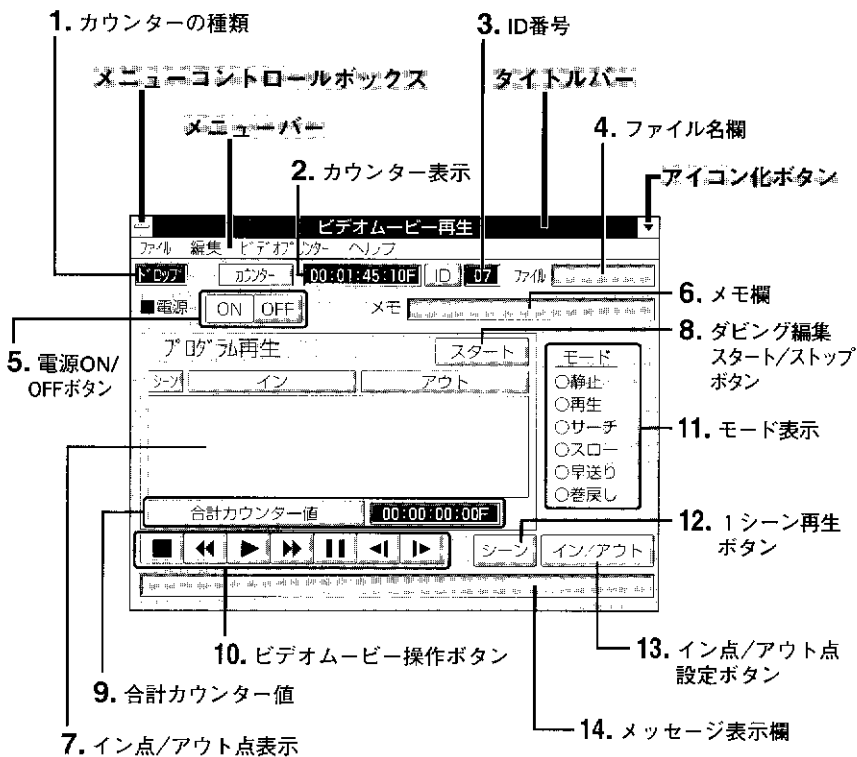
- 正しく接続されていると、[接続機種を選択] 画面を表示します。

3. 接続機種を選択

- 接続する機器の行をクリックしてください。
- 複数の機器を使用する場合は、あわせて指定してください。<OK>で使用する機器が指定され [ビデオムービー再生] 画面を表示します。
- 同じ機器を2台同時に指定することはできません。



ビデオムービー再生画面の働き



ドロップフレーム方式とは

1秒=30フレームでカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97秒のNTSC信号との間に起きるずれを自動的に補正する方式です。補正のしかたは、分の単位が更新されるときに、00および01フレームを飛ばし、02フレームから始めることで補正します。ただし、0・10・20・30など分が10の倍数のときのみ0.0フレームから始めます。

※タイムコードとは、撮影と同時にテープ上に時：分：秒：フレーム（1秒=約30フレーム）単位で記録されている時間データのことです。

1. カウンターの種類

- GR-DV1のカウンターはドロップフレーム方式（左ページの下欄参照）を採用しています。

2. カウンター表示

- 「現在のテープ位置」を表示します。
例 00 : 01 : 45 : 10F
時 分 秒 フレーム

3. ID番号

- 接続されている機器のID番号を表示します。

4. ファイル名欄

- 名前を付けて保存したあとに表示します。
例「SAMPLE 1」

5. 電源ON/OFFボタン

- PCジャンクションボックスのJLIP端子に接続している機器の電源ON/OFFができます。
- ビデオムービーの場合は、あらかじめ電源を入れておかないと、電源ON/OFFができません。

6. メモ欄

- コメントを付けたい場合、メモとして登録することができます。
例「1996年春の旅行」

7. イン点/アウト点表示

- 1ファイルに対して、最高99プログラムまで設定可能です。

8. ダビング編集スタート/ストップボタン








- ダビング編集をスタートさせるボタンです。シーン番号順にビデオに録画されます。編集スタート後は<ストップ>ボタンに変わります。

9. 合計カウンター値

- 各プログラムの合計録画時間を表示します。

10. ビデオムービー操作ボタン

- このボタンは、ビデオムービーを操作するボタンです。

-  停止ボタン
-  巻戻し/巻戻しサーチボタン
-  再生ボタン
-  早送り/早送りサーチボタン
-  静止ボタン
-  逆方向スローボタン
-  正方向スローボタン

- スロー再生するには、静止ボタンを押したあとにスローボタンをクリックしてください。

11. モード表示

- 上のビデオムービー操作ボタンに連動し、ビデオムービーの動作状況が点灯します。

12. 1シーン再生ボタン

- 設定した1シーンの動作確認をするためのリハーサルボタンです。ビデオムービーのみ動作します。
- シーン実行中：
【シーン】の文字が薄くなります。
ビデオムービー操作ボタンの表示は消えます。
- シーン停止時：
【シーン】の文字が濃くなります。

13. イン点/アウト点設定ボタン

- 各シーンのイン点、アウト点を設定するボタンです。

14. メッセージ表示欄

- 接続機器の動作状況を表示します。

【ビデオムービー再生】画面を終了すると
きは、「ファイル」→「終了」を選択します。



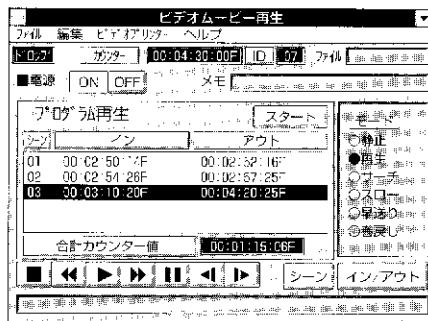
基本操作

1. ビデオムービーを動作させる

- ビデオムービーの電源スイッチを「再生」の位置にしてください。
- ビデオムービーに記録済みテープを入れてください。
- <▶(再生)>ボタンをクリックすると、モード表示の再生ランプが点灯し、テレビに再生画面がでます。
- 他の操作ボタンもクリックして、動作を確認してください。

2. イン点/アウト点を設定する

- <▶(再生)>ボタンをクリックしてビデオムービーを再生します。
- 設定したいシーンで<イン/アウト>ボタンをクリックし、イン点（開始点）、アウト点（終了点）を設定してください。
- アウト点のカウンター値は、イン点より大きい値で設定してください。
- アウト点が設定されていないプログラムは実行しません。



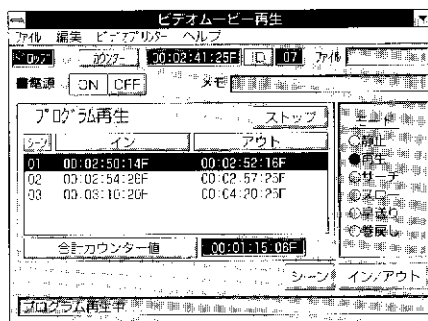
3. 設定したプログラムの1シーンを再生する

- 設定したシーンを1つ選んで再生してみましょう。
- 確認したいシーンの行をクリックしてください。クリックされたシーンの行が強調表示されます。
- <シーン>ボタンをクリックします。ビデオムービーはイン点の手前までテープを移動させ、イン点で再生を始めます。アウト点を過ぎると停止します。

4. 設定したプログラムの全シーンの再生をする (リハーサル)

- 設定した全シーンの内容を確認したいときは<スタート>ボタンをクリックします。
シーン番号順にビデオムービーが再生し、最後のアウト点が過ぎると停止します。
- ビデオムービーのみ動作します。

プログラム再生中は <ストップ> ボタン以外の他の操作はしないでください。誤動作の原因となります。

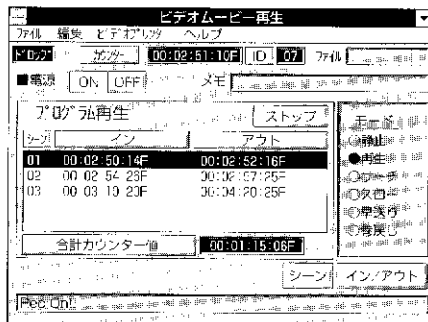


基本操作(つづき)

5. ダビング編集する

- 設定したプログラムの全シーンを録画側ビデオに録画します。
- 録画側ビデオにつめのついたテープを入れ、録画ポーズ状態にします。
- ビデオムービー再生画面の<スタート>ボタンをクリックすると、自動的にダビング編集を始めます。
- ダビング編集が終わると、
ビデオムービー : 停止状態
録画側ビデオ : 録画ポーズ状態
- 録画側ビデオを停止してください。
これでダビング編集終了です。

- ダビング編集については、ビデオムービーの取扱説明書もお読みください。
- 設定した場面より多少ずれることがあります。
- ダビング編集中は、<ストップ>ボタン以外の他の操作はしないでください。誤動作の原因となります。



6. 設定したプログラムを保存する

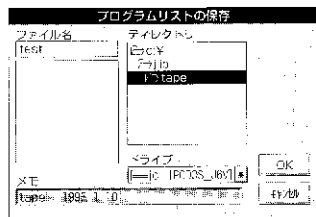
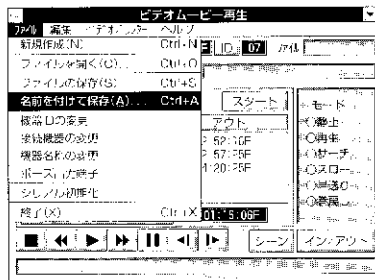
- 設定した全シーンをパソコンにファイルとして保存することができます。
- ビデオムービー再生画面の [ファイル] - [名前を付けて保存 (A)] を選択します。
[プログラムリストの保存] 画面がでます。
ファイル名のところに半角英数8文字まで名前を入れることができます。拡張子は、.jpgとなります。(例: sample.jpg)
- メモ欄には、枠内で任意のテキストが入れます。日本語変換ソフトがパソコンに入っていれば、漢字も入れます。
ここまでで<OK>をクリックすると、お使いのハードディスク上にファイルされます。

フロッピーディスクなどへファイルする場合は、ファイルを記録するフロッピーディスクにJLIPディレクトリ、サブディレクトリとしてTAPEを作成したものをあらかじめ用意しておいてください。

●ドライブの下矢印をクリックして使用するフロッピーディスクドライブを選択してください。

●ディレクトリ欄のTAPEを開いてください。

この状態で<OK>をクリックすると、フロッピーディスクへファイルが記録されます。



ファイルを保存しないで [ビデオムービー再生] 画面を終了すると、ファイルは保存されません。

ファイルを保存する場合は、[ビデオムービー再生] 画面を終了する前に保存してください。

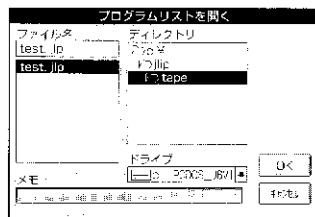
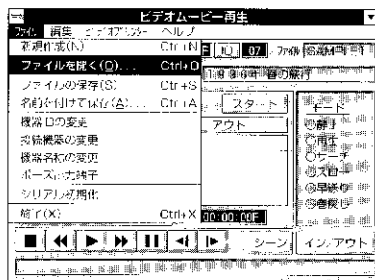


基本操作(つづき)

7. 保存されている作品ファイルを読み出す

- 保存してある作品ファイルを読み出すには、ビデオムービー再生画面の[ファイル]—[ファイルを開く(O)]を選択します。
- [プログラムリストを開く]の画面がでます。ファイル名欄の下側の枠内に保存されているファイル名が表示されますので、欲しいファイル名をクリックすると上側の欄にファイル名が指定されます。<OK>をクリックするとファイルが読み込まれ[ビデオムービー再生]画面に戻ります。

フロッピーディスクからファイルを読み出すには、ファイルが保存されているフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、ドライブ欄の下矢印をクリックしてフロッピーディスクドライブの番号を選択します。次に、ディレクトリ欄のJLIP、TAPEディレクトリを開くとファイル名が表示されます。後は同じです。



8. 登録したプログラムの修正や削除について

- 登録したシーンのイン点やアウト点を修正したいとき。
指定したシーンの行をダブルクリックするか、変更したいシーンの行をクリックして指定しておき、[編集]—[エディット]を選択すると[プログラム修正]画面がでます。修正したい時間枠をクリックして半角数字を入力します。
<OK>をクリックすると修正されます。
ビデオムービーGR-DV1は、ドロップフレーム方式(18ページ参照)を採用しているため、00および01フレームが入力できないことがあります。
- 登録したシーンを削除したいとき。
削除したいシーンの行をクリックして指定します。
[編集]—[カット]を選択すると指定した「シーン番号のプログラムを削除します」と聞いてきます。
<はい(Y)>をクリックすると削除されます。

- 登録したシーンを全て削除したいとき。

[編集] — [全クリア] を選択すると指定した「全プログラムシーンを削除します よろしいですか?」と聞いてきます。<はい (Y)> をクリックすると全シーンが削除されます。

- 登録したシーンをコピーし別の場所に移したいとき。

コピーしたいシーンの行をクリックして指定します。

[編集] — [コピー] を選択すると、指定されたシーンが記憶されます。

次に記憶したシーンを貼り付ける場所を指定します。

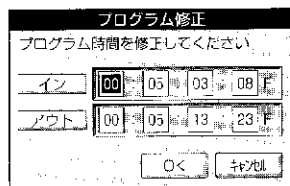
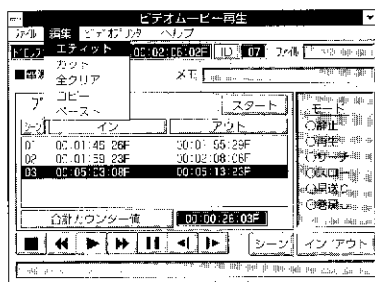
貼り付けたいシーン番号の1つ上の行をクリックして指定します。

[編集] — [ペースト] を選択すると先ほど記憶したシーンが指定した行の下に貼り付けられます。

- 登録したシーンを移動したいとき

移動したいシーンの行をクリックして指定します。[編集] — [カット] を選択すると、指定した「シーン番号のプログラムを削除します」と聞いてきます。<はい (Y)> をクリックすると削除されます。

貼り付けたいシーン番号の1つ上の行をクリックして指定します。[編集] — [ペースト] を選択すると、先ほどカットしたシーンが指定した行の下に貼り付けられます。



9. ファイルの上書きをする

- 既にファイル名のついているものの中身を全て入れ替えたいときに使用します。これを行うと、前の内容は全て消えます。

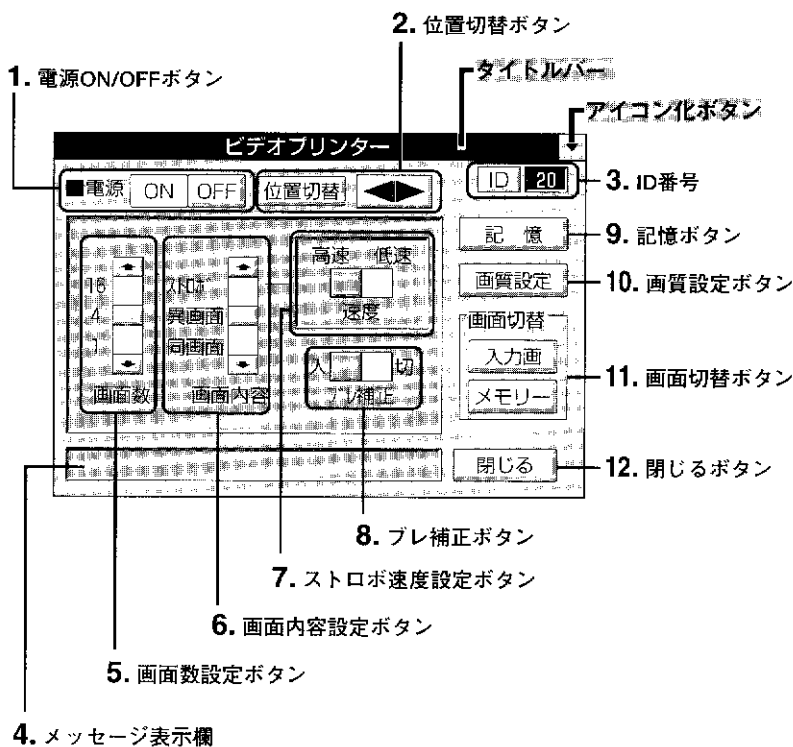
- 既に名前をついたファイルを開きます。(左ページ参照)

- 左ページのイン点/アウト点の修正操作終了後

ビデオムービー再生画面の [ファイル] — [ファイルの保存] を選択します。

<OK> をクリックすると「同名ファイルが存在します 上書きしますか?」と聞いてきます。<はい (Y)> をクリックすると上書きされます。

ビデオプリンター画面の働き



1. 電源ON/OFFボタン

- PCジャンクションボックスのJL I P端子に接続している機器（ビデオプリンター）の電源ON/OFFができます。

2. 位置切替ボタン

- 分割画面でプリントするときの映像の記憶位置を選びます。

3. ID番号

- 接続されている機器のID番号を表示します。

4. メッセージ表示欄

- 接続機器の動作状況を表示します。

5. 画面数設定ボタン

- 矢印(↑/↓)ボタンをクリックして選択します。
1：1画面をプリントするとき。
4：4分割画面でプリントするとき。
16：16分割画面でプリントするとき。

6. 画面内容設定ボタン

- 矢印(↑/↓)ボタンをクリックして選択します。
同画面：記憶した画面（1画面）を設定した画面数（1/4/16）にしてプリントします。
異画面：プリントしたい画面の記憶を設定した画面数（1/4/16）で行います。
ストロボ：ストロボプリントするとき。

7. ストロボ速度設定ボタン

- 画面内容のストロボを選択したときに効果を発揮します。
高速：ストロボプリントするとき、約1/4秒に1場面ずつ画面を記憶します。
低速：ストロボプリントするとき、約1/2秒に1場面ずつ画面を記憶します。

8. ブレ補正設定ボタン

- 設定内容は2種類です。
入：プリントしたい映像がブレているとき、ブレを抑えます。
切：通常はこの位置にします。

9. 記憶ボタン

- 入力されている映像、タイトルをプリントするために記憶します。

10. 画質設定ボタン

- 明るさ補正、コントラスト補正、アパーチャ設定ができます。
●ビデオプリンター本体ではできません。

11. 画面切替ボタン

- 入力映像（入力画）と記憶画面（メモリー）のどちらをテレビ画面に出力するかを切り替えます。

12. 閉じるボタン

- ビデオプリンター画面が閉じます。



ビデオプリンターの操作

1. ビデオプリンターを使ってプリントする

- 14ページの接続をしてください。
- ビデオは「外部入力」にしてください。
- テレビをビデオプリンター入力画面にしてください。
- ビデオムービー再生画面の[ビデオプリンター]—[設定]を選択してください。
[ビデオプリンター]画面がビデオムービー再生画面の上に表示します。

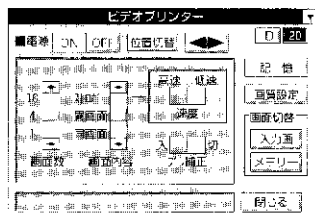
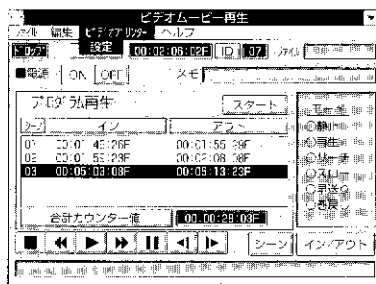
[ビデオプリンター]画面のタイトルにマウスポインターを持っていき、マウスボタンを押しながら画面全体を右上に移動させ、ビデオムービー再生画面の操作ボタンが見えるようにしてください。

- ビデオムービー再生画面の<▶(再生)>ボタンをクリックして、ムービーを再生します。
[ビデオプリンター]画面は、[ビデオムービー再生]画面の背面にかくれます。
[ビデオプリンター]画面を前面に出したいときは、[ビデオプリンター]画面のタイトルなどをクリックしてください。
- プリントしたい場面になったら<記憶>ボタンをクリックします。
プリントしたい場面が記憶され、テレビ画面にでます。
- ビデオプリンターにプリント用紙を差し込み、プリントしてください。
詳しくは、ビデオプリンターの取扱説明書をご覧ください。

次のようなプリント方法もできます。

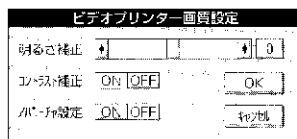
- 1枚に同じ場面をいくつも入れてプリントする(同画面マルチプリント)
- 1枚にいろいろな画面を入れてプリントする(異画面マルチプリント)
- 子画面を入れてプリントする(子画面挿入プリント)
- コマ送りのような画面でプリントする(スドロコプリント)

操作方法については、26ページおよびビデオプリンターの取扱説明書をご覧ください。



2. ビデオプリンターの画質設定を変更する

- ビデオプリンター本体ではできない画質設定ができます。
- 画質設定を変更したいときは、[ビデオプリンター] 画面の<画質設定>ボタンをクリックします。[ビデオプリンター画質設定] 画面を表示します。



明るさ補正 (工場出荷時：0)	見やすい明るさにしてください。 矢印(←/→) ボタンをクリックして選択します。 - 2～+2 までの5段階の設定ができます。 - 一側：暗くなります。 - 十側：明るくなります。
コントラスト補正 (工場出荷時：ON)	ON：プリント出力時、最適な濃淡に自動調整します。 OFF：記憶した画像をそのままプリントします。
オーバーチャージ設定 (工場出荷時：OFF)	ON：くっきりした画像になります。 OFF：やわらかな画像になります。

- 画質設定変更後<OK>ボタンをクリックすると、設定した内容に変更され、[ビデオプリンター画質設定] 画面が閉じます。
- この設定内容はパソコンに記憶され、次にソフトが起動したときは、変更後の内容に設定されています。

3. ビデオプリンター操作を終了する

- <閉じる>ボタンをクリックすると [ビデオプリンター] 画面が閉じます。

4. ビデオムービー再生画面を終了する

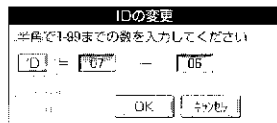
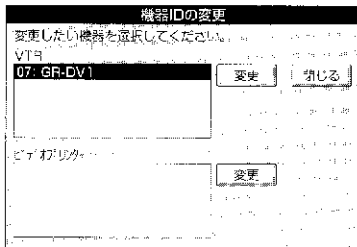
- メニューコントロールボックス：閉じる を選択します。
または、[ファイル] - [終了] を選択すると [ビデオムービー再生] 画面が閉じます。



応用操作

1. ID番号を変更する

- 各機器のID番号は、工場出荷時に設定されています。例えば、ビデオムービーは07、ビデオプリンターは20です。
同じ機器を2台以上接続すると同じID番号になり、誤動作の原因となります。
2台以上のビデオムービー（またはビデオプリンター）を接続する場合は、ID番号を変更してください。
- 新たに同じ機器を接続するときは、接続する前に、すでに接続されている機器のID番号を変更することで、ID番号の重複をさけることができます。
- [ビデオムービー再生]画面の[ファイル] - [機器IDの変更]を選択します。
[機器IDの変更]画面を表示します。変更する機器をクリックして指定します。
<変更>ボタンをクリックすると[IDの変更]画面を表示します。
新しいID番号を入力してください。
<OK>ボタンをクリックすると「機器IDを変更します」と聞いてきます。
<OK>ボタンをクリックすると変更され、[ビデオムービー再生]画面に戻ります。
- ID番号変更後、下の「2. 途中から別の機器を接続する」の操作をしてください。

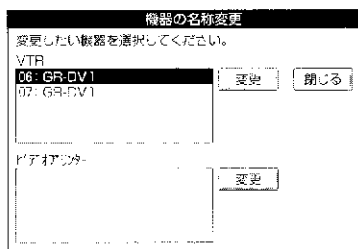


2. 途中から別の機器を接続する

- 途中から別の機器を接続したときや、ID番号を変更したときは、接続機器の確認をするためにシリアル初期化をします。
- [ビデオムービー再生]画面の[ファイル] - [シリアル初期化]を選択します。再起動せずに、接続機器の確認ができます。

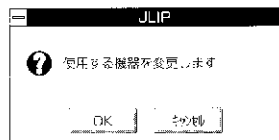
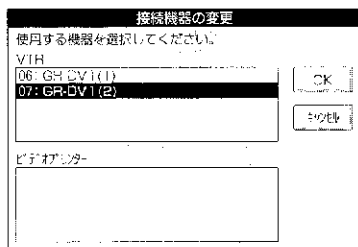
3. 機器名称を変更する

- [ビデオムービー再生] 画面の [ファイル] - [機器名称の変更] を選択します。 [機器の名称変更] 画面を表示します。
変更したい機器名の行をクリックして指定します。
<変更> ボタンをクリックすると [名称変更] 画面を表示します。
新しい名称を入力し、<OK> ボタンをクリックすると、「機器名称を変更します」と聞いてきます。
<OK> ボタンをクリックすると変更され [機器の名称変更] 画面に戻ります。
<閉じる> ボタンをクリックすると [ビデオムービー再生] 画面に戻ります。



4. 同じ機器を2台以上接続時、使用する機器を変更する

- [ビデオムービー再生] 画面の [ファイル] - [接続機器の変更] を選択します。 [接続機器の変更] 画面を表示します。
使用したい機器名の行をクリックしてください。
<OK> ボタンをクリックすると「使用する機器を変更します」と聞いてきます。
<OK> ボタンをクリックすると変更され、「ビデオムービー再生」画面に戻ります。
- 同じ機器を2台同時に操作させることはできません。

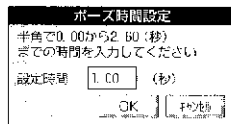




応用操作(つづき)

5. ビデオムービーと録画側ビデオの編集タイミングを合わせる

- ダビング編集時、ビデオムービーで設定した編集点の場面よりも、多少ずれて録画されることがあります。ビデオムービーからの編集スタートタイミングを変えることにより、編集精度を向上させることができます。
- 22ページのダビング編集を行い、どのぐらいのずれがあるかを確認してください。
- [ビデオムービー再生]画面の[ファイル] - [ポーズ出力端子]を選択します。[ポーズ時間設定]画面を表示します。
- ビデオムービーからの編集スタートタイミングを早くするか遅くするかを、半角の英数字で入力してください。
0.00~2.60の範囲で0.01秒ごとに設定できます。工場出荷時は1.30(秒)に設定しています。
設定した場面よりも余分に録画されたとき：数値を1.30よりも小さくする
設定した場面の頭部分が欠けたとき：数値を1.30よりも大きくする
- 数値を入力したあと、<OK>ボタンをクリックしてください。
- この設定内容はパソコンに記憶されます。
- 再度ダビング編集を行い、確認してください。
- ポーズ時間設定をしても、多少ずれることがあります。





こんなときは

画面上にこのようなメッセージが出てきたら

メッセージ内容		参照ページ
●このように表示されます ■このように処置します		
通信ポートをオープンできませんでした	●J L I Pで接続しているCOMポートを選択していません。または、正しく接続せずにCOMポートの指定をしています。 ■COMポートの接続および指定を確認し、再度COMポートの指定を行ってください。	16
接続されている機器が見つかりませんでした 電源が入っていることを確認してください	●接続機器の電源が入っていません。または、正しく接続されていません。 ■正しく接続したあと、機器の電源を入れてください。	12-15
通信エラー (&H1C) ケーブル接続に問題があるかもしれません	●途中で、接続機器の電源が切れているか、または接続ケーブルがはずれています。 ■正しく接続したあと、機器の電源を入れてください。	12-15
接続する機器を選択してください	●使用する機器の行をクリックしていません。 ■使用する機器の行をクリックし、<OK>ボタンをクリックしてください。	17
カセットが入っていません ID (番号) カセットをセットしてください	●ビデオムービーにカセットテープが入っていません。または、途中でカセットテープを取り出したときに表示します。 ■ビデオムービーにカセットテープを入れてください。	—
シーン (番号) のプログラムが不正です (In>Outに設定されています) 修正するかカットしてください	●イン点よりもアウト点の値が小さく設定されています。 ■イン点よりもアウト点の値を大きく設定してください。	20, 25
0以上30未満の整数を指定してください	●登録したシーンのイン点やアウト点修正時、30フレーム以上の数値を指定すると表示します。 ■0~29の整数を指定してください。	25
ドロップカウンターは不正な設定値となります	●ビデオムービーGR-DV1は、ドロップフレーム方式を採用しているため、00および01フレームの入力ができないことがあります。 ■00および01フレーム以外の数値を入力してください。	18




主な仕様

●PCジャンクションボックス (VU-V71)

外形寸法	縦60 × 横80 × 高さ 29 (mm)
質 量	約76g
接続端子	ジャンクションボックス端子 : ミニDIN 6ピン
	パソコン端子 : ミニDIN 8ピン
	DC入力端子 : DC7.5V~12V (付属のACアダプターより電源を供給)
	JLIP端子 (×3) : ϕ 3.5mm 4極 小型単頭ジャック (EIAJ RC-5325プラグに適合)
消費電流	DC8V入力時 25mA

●ACアダプター

外形寸法	縦78 × 横53 × 高さ60 (mm)
質 量	約290g
入 力	AC100V 50/60Hz 8VA
出 力	DC8V 400mA
出力プラグ電極	



保証とアフターサービス

ソフトウェアの扱いにつきましては、ソフトウェア使用許諾書に従います。

保証書 別途添付しています。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは(持込修理)

33ページに従って調べていただき、なほ異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	JLIPプレイヤーバック
型名	HS-V1KIT
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

愛情点検



●長年ご使用の機器の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源プラグ、コードが異常に熱い。
- その他の異常な故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご相談ください。



省エネで
守る環境
豊かな暮らし



JVC Loves the Earth

故障かな?と思ったら
修理に出す前に33ページをご確認ください。

修理についてのご相談は
「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご
依頼になれない場合は、35ページの「保証とアフター
サービス」をお読みの上、別紙の「ビクターサー
ビス窓口」にご相談ください。

お買物相談
お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お
客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東 京

 (03)5684-9311

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大 阪

 (06)765-4161

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

 
日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221 横浜市神奈川区守岸町3丁目12番地 電話(045)450-2550